

# 有限会社アルファグリーン

<http://www.a-green.org/>



取締役社長 池崎 真 info@a-green.org

## 1. アルファグリーンとは

アルファグリーンは、火力発電所から排出される石炭灰（フライアッシュ）を用いた土壌改良剤の研究開発を目的として2000年10月に横浜で設立され、新しい法面緑化技術、新しい草地管理技術を提供している（表-1）。

## 2. 法面緑化工法

アルファグリーン緑化吹付工法（旧 NETIS：TH 990001-VE, 設計比較対象技術）は、侵食防止剤「アルファグリーン」を養生剤に用い、緑化基盤材として広く用いられているバーク堆肥・肥料・種子とともに法面に吹き付ける緑化工法である。適用斜面に応じた次の2工法がある。

- ①アルファグリーン工法 主に土砂系法面の緑化を対象とする客土吹付工で、施工には客土吹付機を使用する。
- ②アルファガン工法：主に岩盤や急傾斜地の緑化を対象とする植生基材吹付工で、施工にはモルタル吹付機を用いる。

**PRE（ピーアールイー）緑化工法**（旧 NETIS：CG-020023-VE, 活用促進技術）は、法面の表面侵食防止を目的として、概ね38mm未満の大きさで、あらかじめチップ化した植物発生材と、結合剤「MC バインダー」を組み合わせて、モルタル吹付機で施工する植生基材吹付工法である。

本工法は、結合剤「MC バインダー」の効果を生かし、副産物である植物発生材（伐根、根株、剪定枝などの破碎チップ材）を堆肥化せずに、法面緑化工の生育基盤材として利用することができ、現場内でのゼロエミッションが実現可能となる。

侵食防止剤「アルファグリーン」と結合剤「MC バインダー」は、ともに環境に優しい方法で無害化（不溶化）されたフライアッシュを主原料としている。また、様々な無機素材から

引き出される複合効果により、造成された植生基盤を高いレベルで安定させ、耐降雨性、耐凍上性を向上させる。さらに、施工時に緑化基礎工の一部（金網張工・ナイロンネット張工等）を原則省略することができ、施工単価減・工期短縮・リサイクルに寄与する（特許第2935408号、同3246661号、3649439号、3840124号、4431664号、4714855号他）。

## 3. 山羊による既存緑地の除草工とシバ型草地維持管理技術

本技術は、管理を必要とする緑地などに繁茂する雑草を機械で刈る代わりに、山羊に食べさせて除草する手法（以下、ヤギ除草）である（特許第4954657号他）。ヤギ除草は、エンジン等の機械を使用しないため、燃料消費に伴うCO<sub>2</sub>の排出量を削減するとともに、騒音がなく、刈草を運搬処分する必要もない。

山羊は大型草食動物の中でも比較的安価で人によく馴れ、傾斜地に強いという特性を持つ。同時に、山羊が草を食む「のどかな」景色を提供することで、心身が癒される「アニマルセラピー」効果や、近隣住民同士、世代間の新たなコミュニケーションが生まれ、地域のコミュニティが活性化する効果がある。

現在では、UR都市機構、国立病院機構、日本下水道事業団、自治体などの公共用地や、大学キャンパス、駅前用地、共同住宅、民間事業用地などで、本技術が活用されている。読者の皆さまの近くにも、意外と弊社の職員山羊（一部の例外を除き名前はない）がいるかもしれない。

表-1 会社概要と連絡先

所在地	横浜市中区山下町99番地1-207号
創業年	2000年10月
資本金	900万円
事業技術域	地盤改良, 法面緑化, 草地管理, 水処理, 重金属不溶化, 獣害防止



写真-1 ヤギ除草施工イメージ